

メンタルヘルスに問題を抱える子どもが 学校生活で求める支援とは？ —学校生活のニーズとストレス反応との関連性に着目して—

○鈴木修斗 (北海道大学大学院)

藤井義久 (岩手大学)

キーワード：援助ニーズ, ストレス反応, 学校生活

問題と目的

メンタルヘルスに問題を抱える子どもの支援にあたって、教師がその子の援助ニーズを把握することは大変重要である。しかし、初期対応の頃は、情報が少なく、教師が子どものニーズを適切に把握することは極めて困難である。そのような状況下では、学校生活の具体的な場面を多面的に取り上げ、子どものニーズを把握し、支援の根拠となる研究が必要である。

そこで、本研究では、メンタルヘルスに問題を抱える子どもが学校生活において求める支援とは何かを明らかにするために、学校生活のニーズを測る尺度 (学校生活ニーズ尺度) を開発し、ストレス反応との関連性を検討することにした。

方 法

調査手続き

東北地方の公立中学校 1 校に通う中学生 (1 年~2 年)、計 249 名を対象とし、2020 年 10 月に質問紙調査を実施した。なお、分析には、欠損値 ($N=3$) のあるものを除いた計 246 名 (男子 133 名, 女子 113 名) のデータを使用した。

調査内容

本調査では、フェイスシート (計 4 項目)、青木 (2004) が作成した 6 つの下位尺度から成るお茶大式学校メンタルヘルス尺度 (計 31 項目)、既存の尺度を参考にして作成した暫定尺度である学校生活ニーズ尺度 (計 42 項目) について尋ねた。尺度の作成に当たっては、松沼・五十嵐 (2016) が作成したソーシャルサポート尺度から計 10 項目、栃木県教育総合センター (2013) が作成した教育的環境・関わり方についての質問項目から計 18 項目、山田・吉澤 (2017) が作成した教師・保護者・友人におけるはたらきかけ尺度から計 8 項目、合計 36 項目を参考に

項目を作成し、暫定尺度とした。なお、尺度の回答方法については、両方とも、「まったく当てはまらない:1 点」—「とてもよく当てはまる:5 点」の 5 件法である。

結果と考察

まず、学校生活ニーズ尺度の中で、正規性が見られなかった項目を除く 37 項目について、因子分析を行なった (主因子法・プロマックス回転)。その結果、固有値の変化および解釈可能性から 6 因子解が妥当であるとされた。ただ因子寄与率が低い項目と二重負荷の見られる項目があったので、それらの項目を削除し、繰り返し同様の因子分析を行なった結果、最終的に、「情動的サポート」、「評価的サポート」、「公平的環境」、「協同的環境」、「情緒的サポート」、「自律的環境」の 6 つの因子が抽出された。Cronbach の信頼性係数は順に $\alpha = .87, .86, .84, .80, .81, .69$ であった。

次にストレス反応と学校生活ニーズとの関連を検討するため、男女別に、学校生活ニーズを従属変数、ストレス反応を独立変数とする重回帰分析を行なった (Table 1)。その結果、男女ともに、学校生活ニーズとストレス反応との間に複数の関連が認められた。特に、非効力感と学校生活ニーズとの間に多くの負の関連が認められ、男子では協同的環境との間に負の関連が、女子では公平的環境との間に負の関連が、そして男女ともに評価的サポートとの間に強い負の関連が認められた。

以上の結果から、効力感の低い子どもは、多くの面で学校生活に対するニーズが低いことが示された。特に、評価的サポートに対するニーズが低い傾向にあり、この結果は、メンタルヘルスの問題に有効と考えられている評価的サポートが、効力感の低い子どもにとって、実際は、受けたくない支援である可能性を示唆している。

Table 1 学校生活ニーズを従属変数、ストレス反応を独立変数とする重回帰分析の結果 上段:男 下段:女

従属変数	独立変数						R ²
	身体症状	摂食障害	抑うつ	対人緊張	非効力感	衝動性	
情動的サポート	-.02	.21 *	.06	-.13	-.31 *	.14	.12 *
	.27 *	-.17 †	-.25 †	.20 †	.03	-.33 **	.18 **
評価的サポート	.01	.10	-.02	-.18	-.39 **	.26 *	.19 ***
	.20	.19 *	-.18	.19 †	-.51 ***	-.06	.21 ***
公平的環境	-.25 *	.04	.08	-.12	-.18	.01	.15 **
	.06	.06	.13	.15	-.40 **	-.31 **	.17 **
協同的環境	.02	.16 *	.02	-.34 **	-.29 **	-.13	.34 ***
	.05	.09	-.08	-.06	-.20	-.23 *	.17 **
情緒的サポート	-.10	.14	.19	-.26 *	-.20 †	.09	.11 *
	-.03	-.07	.06	.24 (†)	-.20	-.20 (†)	.08 n. s.
自律的環境	.03	-.19 *	-.23 †	.02	.28 *	.20 †	.13 **
	.18	.11	-.20	-.01	.12	.04	.05 n. s.

† $p < .10$ * $p < .05$ ** $p < .01$ *** $p < .001$